

企画セッション

◆ 経済安全保障の主要論点:国際政治学との架橋 ◆

【概要】

米中の経済上・政治上の対立が深まる中、経済安全保障は主要国に大きな問いを投げかけている。国際的な研究開発、そして、事業展開にも大きな影を落としかねない論点に、いまやなってしまう。本学会の2022年度シンポジウムでは、特許制度にあたる影響とそれに対応したマネジメントについて議論をしたが、本セッションでは大局的な視点を得ることを目指す。

経済安全保障、米中の経済対立について探求を行う政治学者を招き、研究開発活動やイノベーションへの影響を議論する。具体的な論点は次を予定している。

- 安全保障と経済安全保障はどこが違うのか？
- 米中の経済対立は第二の冷戦か？新たな構図か？だとすれば何が特徴か？
- 経済安全保障をめぐる米国にはどのような動きがあるのか？
- 中国やその他の新興国にはどのような動きがあるのか？
- これらの政治的な動きが研究開発やイノベーションにどのような影響を及ぼしうるのか？
- これからの10年間の日本の立ち位置はどのようになりうるか？

なお、本企画セッションは年次学術研究発表大会のプレ・イベントとして11月2日(水)18:00~19:40にオンラインにて開催する。

【内容】

話題提供(1): 米中対立の主要論点

鈴木 一人 (東京大学 公共政策大学院 教授)

話題提供(2): 米国のイノベーション・エコシステムと安全保障

齊藤 孝祐 (上智大学 総合グローバル学部 准教授)

パネルディスカッション、および、質疑応答

モデレーター: 吉岡 (小林) 徹

論点:

- 中国やその他の新興国にはどのような動きがあるのか？
- 研究開発活動やイノベーションにどのような影響がありうるのか？
- これからの10年間の日本の立ち位置はどのようになりうるか？
- 研究開発部門、知的財産部門は何に気をつけなくてはいいけないか？

企画セッション

◆ 経済安全保障の主要論点:国際政治学との架橋 ◆

【講演者略歴】

鈴木 一人 (すずき かずと) 東京大学 公共政策大学院 教授

1970年生まれ。2000年セサックス大学大学院サセックスヨーロッパ研究所博士課程修了。Ph.D.。筑波大学国際総合学類、北海道大学大学院公共政策教育部を経て、2020年より現職。欧州、米国を中心とした国際政治経済学、科学技術と安全保障、宇宙政策を専門とする。代表的著書として『宇宙開発と国際政治』（岩波書店、2011年。サントリー学芸賞）。2017年から日本安全保障貿易学会会長。

齊藤 孝祐 (さいとう こうすけ) 上智大学 総合グローバル学部 准教授

1980年生まれ。2011年筑波大学大学院人文社会科学部博士課程修了。博士（国際政治経済学）。横浜国立大学研究推進機構を経て、2021年より現職。科学技術・イノベーション政策、安全保障を専門とする。主な著書として『軍備の政治学—制約のダイナミクスと米国の政策選択—』（白桃書房、2017年）。

【モデレーター略歴】

吉岡 (小林) 徹 (よしおか (こばやし) とおる)

一橋大学 イノベーション研究センター 専任講師

1982年生まれ。2007年大阪大学大学院法学研究科博士前期課程修了。2015年東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻修了。博士（工学）。株式会社三菱総合研究所、東京大学大学院工学系研究科を経て、2019年より現職。専門は知的財産マネジメント、科学技術政策。主な著書として『イノベーション&マーケティングの経済学』（中央経済社）。

以 上